

オフスクリーン喜多方っ子運動

メディアとつきあう力を育成するために

喜多方市児童・生徒の携帯電話等の所有率

小学生では **52.8%** 中学生では **89.4%** です
(令和2年度 各学校の調査より)

主な利用機器



パソコン、スマートフォン、
タブレット・ゲーム機、携帯電話

所有者の低年齢化、ゲーム時間やネットの利用時間が増えることで様々な悪影響が出ています。



◎事件やトラブルに巻き込まれやすい。

◎テストの正答率が、低下傾向に。

◎脳の正常な発達・機能が阻害されます。

「オフ・スクリーン 喜多方っ子運動！」を推進しています



喜多方市では、平成21年度より全国学力・学習状況調査の結果より、市の児童・生徒のメディアに接触する時間は、全国に比べてやや長い傾向にあることが分かりました。そのため、毎月第1水曜日を「ノーテレビ・ノーゲームデー」に定め、約8年間取り組んできました。この取組は、福島県内でも注目を集め、ネットトラブルの減少や家庭での会話が増えたりある程度の効果が見られました。しかし、ここ数年でWi-Fiが急速に普及し携帯電話以外の端末でも、子どもたちは自由にSNSを利用することができるようになり、多くの子どもたちがWi-Fiを介してSNSを利用できる端末機器を所有し、周囲の大人の知識やスキルが追いつかない状況も見られます。

そのため、平成28年10月よりテレビやゲームを否定するのではなく、スクリーンから離れることにより、家庭での会話やお手伝い、読書・お絵かきなど脳にとって良い刺激となる活動や運動、地域の行事等への参加を促進する「オフ・スクリーン喜多方っ子運動！」を推進しています。

メディアに関する問題は、全国的に取り組まなければならない問題です。各学校（幼・小・中）・家庭・地域が連携し、下記のことについて取り組んでいきましょう。

- 1 情報モラル教育充実（正しい知識や使い方を指導しましょう）
- 2 保護者への啓蒙（家庭でのルールづくりを呼びかけましょう）
- 3 自己管理の育成（ゲーム漬けにならない強い心を育てましょう）

